



2022年6月9日

九州電力送配電株式会社

50万ボルト日向幹線の運用を開始しました

当社が2014年から建設を進めてまいりました50万ボルト日向幹線は、本日、設備を使用するために必要な検査に合格し、運用を開始しましたので、お知らせいたします。

送電線の更新工事を実施する場合、1回線ずつ長期に及ぶ線路停止が必要ですが、これまで当社の50万ボルト系統は、九州北部と南部を結ぶ送電線が1ルート（2回線）で構成されており、万が一系統事故が発生した場合は、広範囲な供給支障に至る可能性があります。そのため、この対策として50万ボルト日向幹線を新たに建設しました。

これにより、九州南北の50万ボルト系統がループ化され、高い供給信頼度を確保しながら、九州域内送電設備の更新工事を実施できるようになりました。

当社は、安定した質の高い電気をお客さまにお届けし、安心してお使いいただくため、今後も適切な設備の建設維持管理、及び安全かつ効率的な運用に取り組んでまいります。

■送電設備概要

電圧・線路名	50万ボルト 日向幹線
回線数	2回線
区間	自：東九州変電所（大分県臼杵市） 至：ひむか変電所（宮崎県児湯郡木城町）
通過地	大分県：臼杵市、佐伯市 宮崎県：延岡市、美郷町、門川町、日向市、西都市、木城町
こう長・支持物	124km 鉄塔 291基

■変電設備概要

開閉設備	東九州変電所、ひむか変電所
電圧・回線数	50万ボルト 2回線

以上



ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」

そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。

それが、私たち九電グループの思いです。